

2024.2.29

# 第9回 周南市スマートシティ推進協議会

- ▶ 資料1 今年度の市の取組について
- ▶ 資料2 今年度のモデル地区での取組について
- ▶ 資料3 次年度の取組の方向性について

# 資料1

---

## 今年度の市の取組について



# 1. 進捗状況

## ① スマホ体験会 (11/2,11/6)

- ☞ **すべての参加者が体験会後のアンケートで「満足」、「また参加したい」、「友人や知人に勧めたい」と回答。**
- ☞ **約4割の参加者が使ってみたい気持ちが強まったと回答。**
- ☞ **スマホ用語に対する理解度も向上した。**



## ② スマートシティ推進シンポジウム (12/10)

- ☞ **会場参加者：64名 (定員：80名)**
- ☞ **オンライン視聴申込者：22名**
- ☞ **パネルディスカッションでは「連携の意義」や「連携の第一歩」「周南市での取組アイデア」について議論した。**
- ☞ **今後、期間限定でアーカイブ配信を予定している。**



# 1. 進捗状況

## ③ オンライン手続

- ◎学校施設スポーツ開放使用のオンライン申請（試験導入中）
- ◎粗大ごみ収集のオンライン申込（R6年度運用開始予定）
- ◎家庭ごみ搬入のオンライン予約（R6年度運用開始予定）
- ◎消防関連手続のオンライン化（6手続について公開済）



## ④ 野犬対策

- ◎クラウド型カメラを活用した野犬のえさやり監視（運用中）



## ⑤ その他の取組

- ◎センサー等を活用したスマート農業（データ取得中）
- ◎森林資源の見える化に向けた取組（データ解析中）
- ◎消防活動の高度化のためのICT活用（機能検討中）
- ◎ポイ捨て等不法投棄ごみの分布状況の可視化（データ取得中）



# 資料2

---

## 今年度のモデル地区での取組について



# 1. 前回のふりかえり

## 取組① 小学校におけるマップづくり

**内容** 各校の5年生が総合学習の授業で、模造紙等で地域情報を可視化。  
➡ **GIGAスクール端末を活用し、GIS等により可視化。**

## 取組② 河川監視事業との連携

**内容** 実証的に準用河川「梅花川」に**水位計や監視カメラを設置。**  
➡ **住民等への情報公開を検討しているが、ニーズ検証が必要。**  
➡ **防災・福祉関係団体へのヒアリングや住民等へのアンケート。**

## 取組③ 生活情報に関するニーズ整理

**内容** ワークショップ等で情報受発信に関するニーズが多く挙げられた。  
➡ **「どんな情報」を「どのタイミング」で「どのように受け取りたいか」**  
**、「どんな情報」を「どのように発信したいか」を整理する。**  
➡ **地域と調整しながら企画し、対話を通して議論を深める。**

# 1. 前回のふりかえり

## 取組① 小学校におけるマップづくり

- 内容** 各校の5年生が総合学習の授業で、模造紙等で地域情報を可視化。  
➡ **GIGAスクール端末を活用し、GIS等により可視化。**

## 取組② 河川監視事業との連携

- 内容** 実証的に準用河川「梅花川」に水位計や監視カメラを設置。  
➡ 住民等への情報公開を検討しているが、ニーズ検証が必要。  
➡ 防災・福祉関係団体へのヒアリングや住民等へのアンケート。

## 取組③ 生活情報に関するニーズ整理

- 内容** ワークショップ等で情報受発信に関するニーズが多く挙げられた。  
➡ 「どんな情報」を「どのタイミング」で「どのように受け取りたいか」、  
「どんな情報」を「どのように発信したいか」を整理する。  
➡ 地域と調整しながら企画し、対話を通して議論を深める。

## 2. 小学校におけるマップづくり

### 取組の流れ

- ①座学
- ②机上調査
- ③フィールドワーク
- ④まとめ・可視化
- ⑤発表準備
- ⑥発表会
- ⑦ふりかえり

### 周陽小学校

令和5年10月 6日(金) 第1回授業  
 令和5年11月 9日(木) 第2回授業  
 令和5年12月 6日(水) 発表会

### 遠石小学校

令和5年10月10日(火) 第1回授業  
 令和5年12月 7日(木) 第2回授業  
 令和6年 2月14日(水) 発表会





## 2. 小学校におけるマップづくり

ふりかえり結果(速報から抜粋)

### 1. 授業について

- ➡ 難易度、長さともに**約7割がちょうどよかった**と回答。
- ➡ **約9割が興味を持って取り組めた**と回答。
- ➡ 今回の授業を通して、**以下の効果を実感**。
  - ☞ 情報リテラシー(肖像権、パスワードの重要性)の向上。
  - ☞ スマートシティに興味を持てた。
  - ☞ 地域のことを知ることができた。
- ➡ その他児童の声
  - ☞ 今回は保護者だけだったが、**もっと地域の人にも知ってもらいたい**。
  - ☞ **みんなで助け合いながらだと、楽しくて上手くできた**と思う。
  - ☞ このマップが**誰かの役に立つ**といいなと思った。

## 2. 小学校におけるマップづくり

GIGAスクール端末を活用した安全マップづくり、タブレットの有効活用

**プログラムの評価及び改善点**

**今後の発展**や**他校への横展開**につなげ、  
**タブレットのさらなる活用**を図る。

# 1. 前回のふりかえり

## 取組① 小学校におけるマップづくり

- 内容** 各校の5年生が総合学習の授業で、模造紙等で地域情報を可視化。  
➡ GIGAスクール端末を活用し、GIS等により可視化。

## 取組② 河川監視事業との連携

- 内容** 実証的に準用河川「梅花川」に水位計や監視カメラを設置。  
➡ 住民等への情報公開を検討しているが、ニーズ検証が必要。  
➡ 防災・福祉関係団体へのヒアリングや住民等へのアンケート。

## 取組③ 生活情報に関するニーズ整理

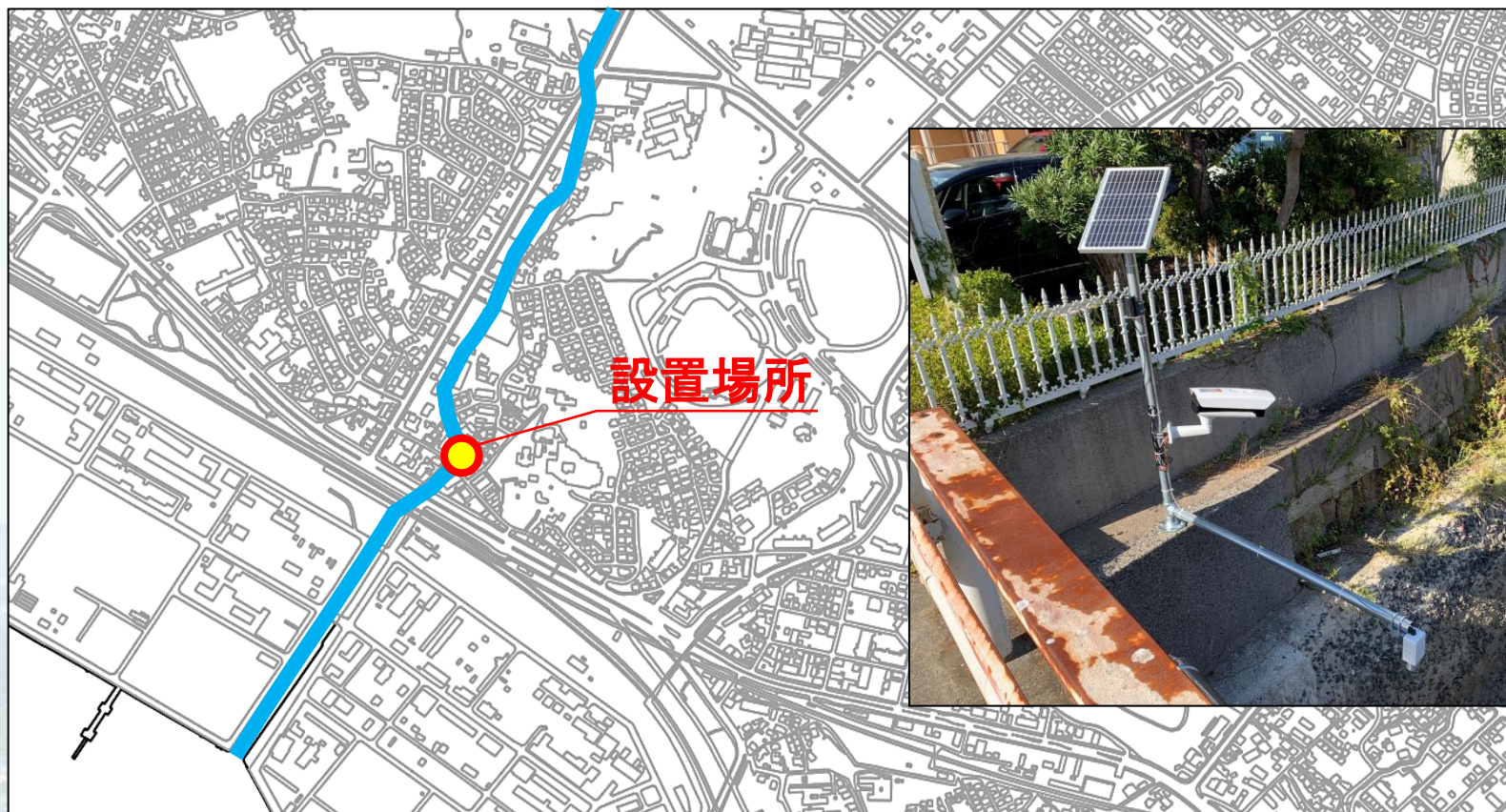
- 内容** ワークショップ等で情報受発信に関するニーズが多く挙げられた。  
➡ 「どんな情報」を「どのタイミング」で「どのように受け取りたいか」、  
「どんな情報」を「どのように発信したいか」を整理する。  
➡ 地域と調整しながら企画し、対話を通して議論を深める。

# 3. 河川監視事業との連携

## 河川監視カメラ設置

令和5年9月下旬

## 梅花川にカメラと水位計を設置



# 3. 河川監視事業との連携

## 関係者ヒアリング

令和5年8月～9月 自主防災組織・周南市社会福祉協議会



ヒアリング内容

- 日々の活動内容
- 災害時情報伝達の現状と課題

## 住民アンケート

※ヒアリングの結果を踏まえてアンケート作成

対象者：**モデル地区在住の18歳以上の方**（無作為抽出：2,000名） ➡ **回収率：39%**

アンケート内容

- スマホの利用状況
- 河川監視カメラについて
- 自主防災組織について
- 災害時の情報収集方法
- 災害時の情報発信について

# 3. 河川監視事業との連携

## アンケート結果(抜粋)

### 1. 災害時の情報収集方法(媒体・情報の種類)

- ▶ 平常時、非常時問わず**テレビ、スマホ**が活用されている。
- ▶ スマホに詳しい人ほど**色々な情報を求めている**傾向がある。
- ▶ 世代によって**求めている情報に差異**がある。
  - ☞ 若者層(10代~30代)では**避難場所**や**具体的な行動指示**が求める情報の上位に挙がってきている。
  - ☞ シニア層(70代以上)では半数以上が**避難場所**や**具体的な行動指示**を求めておらず、**災害情報**や**被害情報**を求めている。

# 3. 河川監視事業との連携

## アンケート結果(抜粋)

### 2. 河川監視カメラについて

- ➡ 回答者の約85%が**良い取組**と回答している。
- ➡ **水位の上昇率**や**複数地点の水位情報**など河川の水位に関する**情報**が求められている。
- ➡ 情報の受取方法は、**スマホ所有状況**で傾向が異なる。
  - ☞ スマホ所有者では**ホームページ**や**メール**、**LINE**等の**チャット**が上位。
  - ☞ スマホ非所有者では**CATV**や**d放送**、**メール**が上位。

# 3. 河川監視事業との連携

アンケート結果(抜粋)

## 3. 災害時の情報発信について

- ➡ 回答者の約60%が**情報発信ツールを使ってみたい**と回答し、その約90%が**スマホでの利用**を希望している。
- ➡ **情報発信ツールの形態は、世代によって傾向が異なる。**
  - ☞ 若者層(10代~30代)では**SNSやLINE等のチャット**が上位。
  - ☞ 中間層(40代~60代)では**専用アプリ**が上位。
  - ☞ シニア層(70代以上)では**メール**が上位。



# 3. 河川監視事業との連携

## 河川監視事業への助言(抜粋)

1. 複数のツールで情報を早く共有できる仕組みが必要
2. 河川の情報だけでなく雨量等の関連情報にもニーズあり
3. 過去の実績を踏まえた情報発信が重要
4. 情報を受け取る側のデジタル・ディバイドの解消も必要

### 3. 河川監視事業との連携

今後の展開

ヒアリングとアンケートの分析結果

ニーズを整理して河川港湾課等に**情報提供・助言**。

効果的な**防災関連情報の発信**につなげる。

# 1. 前回のふりかえり

## 取組① 小学校におけるマップづくり

- 内容** 各校の5年生が総合学習の授業で、模造紙等で地域情報を可視化。  
➡ GIGAスクール端末を活用し、GIS等により可視化。

## 取組② 河川監視事業との連携

- 内容** 実証的に準用河川「梅花川」に水位計や監視カメラを設置。  
➡ 住民等への情報公開を検討しているが、ニーズ検証が必要。  
➡ 防災・福祉関係団体へのヒアリングや住民等へのアンケート。

## 取組③ 生活情報に関するニーズ整理

- 内容** ワークショップ等で情報受発信に関するニーズが多く挙げられた。  
➡ 「どんな情報」を「どのタイミング」で「どのように受け取りたいか」、  
「どんな情報」を「どのように発信したいか」を整理する。  
➡ 地域と調整しながら企画し、対話を通して議論を深める。

# 4. 生活情報に関するニーズ整理

## ワークショップ

### 『暮らしを便利に、情報でつなぐアイデア発掘！』

第1回 体験しよう、共有しよう

※周陽:9/29、遠石:9/28

第2回 もっとラクに、アレコレ知りたい！伝えたい！

※周陽:10/31、遠石:10/26

第3回 周陽・遠石地区合同おしゃべりカフェ

※合同開催:11/22

## 滞在型調査

### 『暮らしを便利に、情報でつなぐアイデア発掘！インタビュー』

10月8日～10月15日の10日間、のべ9か所で実施 ※約200名にヒアリング

課題解決のための**機能要件**を整理。

# 4. 生活情報に関するニーズ整理

周陽・遠石地区合同おしゃべりカフェ

1. 住民の課題解決アイデアを発表
2. 参加者が1人3枚までシールを貼って投票

「いいね！」が多かったアイデア

★:若者層    ★:中間層    ★:シニア層

①担い手(ボランティア)応募・募集 ★★★★★★★★★★

☞「地域活動に携わりたい人」と「募集している人」の情報をマッチング！

②市民センター・公共施設(体育館など)活用 ★★★★★★★★★★

☞施設情報をわかりやすく発信！予約も支払いもオンラインで完結！

③ポータルアプリケーション・サイト ★★★★★★★★

☞いろんな情報の入口を整理・集約！地区ごとの検索もできる！

④地区のオンライン掲示板 ★★★★★★

☞回覧板や広報紙もオンラインで！イベント情報や地域活動の意見交換も！

## 4. 生活情報に関するニーズ整理

機能要件に求められる観点

1. ユーザーの**属性**(個人・団体等)に応じた**アカウント管理**。
2. **ユーザー側**からも**情報発信**ができる。
3. 閲覧したユーザーから**フィードバック**を得られる。
4. 投稿された情報は**体系的に検索**(分野別等)ができる。
5. **わかりやすいインターフェース**(操作画面等)で**使いやすい**。

## 4. 生活情報に関するニーズ整理

今後の展開

ワークショップ等の意見から見えてきた**機能要件**。



生活情報、地域情報を発信する  
**具体的な製品・サービスの検討**。

# 5. 情報発信・収集ツールの試行

## 地域公式LINEの試行

地域の情報発信・共有のツールとしてLINEを活用してみる。

➡ ユースケース創出や運用方法の検証を行う。

.....  
令和5年8月 周陽地区・遠石地区で公式LINE(試行版)運用開始

令和6年1月末時点の登録者数 周陽:55名、遠石:97名



共同管理者へのヒアリング

登録者(お友だち)へのアンケート



# 5. 情報発信・収集ツールの試行

アンケート結果(速報から抜粋)

回収率(速報値):約28%

## 1. 公式LINE(試行版)について

- ➡ 地域行事・イベント情報への**関心が高い**。
- ➡ **9割以上**が公式LINEでの情報発信を**良い方法**と回答。
  - ☞ **後からでも情報を確認できる**から。
  - ☞ **LINEが幅広い世代で利用されている**ツールだから。
- ➡ **約2割**が**管理者の一人**として、**約半数**が**情報の受信者**として関わりたいと回答。

# 5. 情報発信・収集ツールの試行

今後の展開

ヒアリングとアンケートの分析結果



継続的な取組につながる運用方法等  
に関する検討・評価

## 6. 多様な主体による検討機会・仕組み検討

継続的なスマートシティ推進のため、**地域課題**や**解決策**を**考える機会**  
**創出**や**仕組み構築**を検討する。

➡ **専門家**や**市内の教育研究機関**、**地元企業**等に**ヒアリング**。

令和5年 9月

ウォンツ(ツルハグループ)へのヒアリング

令和5年10月

周南総合スポーツセンターへのヒアリング

令和5年10月～令和6年 1月

徳山工業高等専門学校へのヒアリング

令和6年 2月

周南公立大学へのヒアリング

令和6年 2月

徳山駅前賑わい交流施設(CCC)へのヒアリング

周南市により適した仕組みの検討

# 資料3

---

## 次年度の取組の方向性について



# 1. 統合型情報発信ツールの運用

「住民が必要とする生活情報の整理」で得た  
機能要件から浮かび上がる製品・サービスを  
モデル地区で実証的に運用

## 1. 住民起点の課題解決

☞ これまでのワークショップ等が出た「色々な情報が分散していてわかりにくい」、「地域のお情報も必要な人に届かない」といった解決するために活用。

## 2. 適切な運営主体の整理

☞ どのような主体で運営していくことが望ましいかを検討。

☞ 実証結果を反映して全市域への展開を目指す。

## 2. モデル地区でのスマートシティ推進支援

これまでのモデル地区での取組で得た  
**地域課題・ニーズの概要を公表し、**  
民間企業等からの**事業提案を公募**

### 1. 住民起点の課題解決

☞これまでの取組で得た「地域課題・ニーズ」を公表し、提案を募集することで課題解決に直結する。

### 2. 企業等が積極的に関与しやすい環境の整備

☞課題やニーズを示すことで、企業等が積極的に関与できる。

☞スマートシティ推進を加速し、モデル地区の価値を高めることができる。

# 3. 多様な主体による検討機会・仕組み構築

スマートシティが自走・継続する機会創出に向け、  
「住民」「教育研究機関」「企業」等の多様な主体で  
課題を解決していく仕組みを構築

## 1. 住民起点の課題だけでなく様々な課題の解決

☞ 周南公立大学や徳山工業高等専門学校等の教育研究機関、企業等と連携して特定のテーマに沿った主体的な取組・体制を生み出し、様々な課題を解決。

## 2. 多様な主体の意識変容・行動変容

☞ 主体的な取組を通じて、関係者の意識・行動が変わる。

☞ モデル地区での取組をモデルケースとして市内全域へ拡大。